

令和5年度第4回東京都感染症対策連携協議会 予防計画協議部会

議事概要

1. 日時

令和5年10月24日（火） 16時00分から17時32分まで

2. 場所

東京都庁第一本庁舎33階 特別会議室N1

3. 議題と主な意見

(1) 予防計画改定にあたっての協議事項・検討課題等〈自宅療養者支援〉

- ・救急相談を含む自宅療養者への相談窓口の設置は、必須の機能である。こうした体制について、都民に分かりやすく周知することも大切である。
- ・自宅療養者のフォローアップ体制について、今回の経験を次に活かし、迅速に対応してほしい。
- ・都、保健所、区市町村での役割分担を明確にしておくことが重要。住民の方々がどこで情報を得ればいいのか迷わないよう、各自治体の実情を踏まえ、連携を図りながら進めていただきたい。
- ・デジタル技術の活用については、高齢者や外国籍の人などの社会弱者への対応についても、課題として記載したらどうか。

(2) 予防計画改定にあたっての協議事項・検討課題等〈患者移送〉

- ・東京は自家用車の所有率が低いため、今後搬送に使用する車両や搬送方法について、一層の準備をお願いしたい。

(3) 予防計画改定にあたっての協議事項・検討課題等〈宿泊療養施設の運営〉

- ・多様な患者の受け入れの検討に当たっては、コロナのときにあった、特例疑似症、いわゆるみなし陽性者の方についても、宿泊療養の対象として検査ができる体制を整えておくとうい。
- ・ホテルを中心とした宿泊療養によって、多くの人数を収容して観察できるようにし

たということは、非常に重要だった。新たな感染症が重症度の高いものであった場合も、上手に乗り越えられるよう、医療機関等との連携を強化することが必要。

- ・次なるパンデミック時に、宿泊施設を速やかに立ち上げられるよう、準備をしておくことが大事。

(4) 予防計画改定にあたっての協議事項・検討課題等〈臨時の予防接種〉

- ・ワクチン接種に当たっては、都と医師会で連携を組み対応してきた。今後とも緊密な連携関係を築いてやっていきたい。一方で、高齢者施設への円滑な接種には課題もあった。
- ・接種回数を重ねるごとに、無駄になるワクチンが相当数出たと聞いている。どの段階でどういう接種体制を組んだらいいのかということも、柔軟に対応していく必要があると感じた。
- ・子供も含めた接種に関する啓発活動には、もう少し力を入れる必要がある。
- ・接種会場設置に当たっては、やはり事前によくスタッフのトレーニングをしておくことが必須だと考える。